



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月10日

上場会社名 株式会社メディネット 上場取引所 東
コード番号 2370 URL <https://www.medinet-inc.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久布白 兼直
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 落合 雅三 TEL 03-6631-1201
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年9月期第2四半期の業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	399	14.4	△658	—	△632	—	△634	—
2023年9月期第2四半期	349	9.8	△671	—	△669	—	△676	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	△2.55	—
2023年9月期第2四半期	△3.19	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	6,100	5,567	91.2
2023年9月期	5,634	5,043	89.2

（参考）自己資本 2024年9月期第2四半期 5,561百万円 2023年9月期 5,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	850	28.5	△1,488	—	△1,475	—	△1,479	—	△6.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	256,190,306株	2023年9月期	232,160,757株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	64株	2023年9月期	64株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	249,065,464株	2023年9月期2Q	211,842,312株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
- ・当社は、2024年5月30日（木）に機関投資家及び証券アナリスト向けにオンラインによる決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、決算説明資料については、東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）にも掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(収益認識関係)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（2023年10月1日から2024年3月31日まで）においては、経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境の改善がみられるなど、景気は穏やかな回復基調となりました。一方で、不安定な海外情勢、為替相場の変動や消費者物価の上昇等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

こうした状況の中、当社は引き続き、「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」と「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」による法的枠組みの下、新たなビジネス展開による事業拡大に向けた取り組みを進めるとともに収益構造の改善に注力しております。当社を取り巻く事業環境は依然として厳しさが続いておりますが、特定細胞加工物の受託拡大やCDMO事業の基盤強化に注力しております。

この結果、当第2四半期累計期間における当社の経営成績は以下のとおりとなりました。

(金額単位：百万円)

	売上高	営業損失 (△)	経常損失 (△)	四半期純損失 (△)	1株当たり 四半期純損失 (△)
当第2四半期 累計期間	399	△658	△632	△634	△2.55円
前第2四半期 累計期間	349	△671	△669	△676	△3.19円
増減率 (%)	14.4	—	—	—	—

当第2四半期累計期間においては、特定細胞加工物製造業やCDMO事業の売上が増加したこと等により、売上高は399百万円（前年同期比14.4%増）となりました。損益面につきましては、売上高の増加等により、売上総利益は78百万円（前年同期比15.2%増）、支払手数料の減少等による一般管理費の減少により販売費及び一般管理費は737百万円（前年同期比0.4%減）となり、営業損失は658百万円（前年同期は営業損失671百万円）となりました。また、投資事業組合運用益20百万円（前年同期は投資事業組合運用損6百万円）、加工中断収入4百万円（前年同期比34.9%減）、株式交付費6百万円（前年同期比5,256.0%増）等の営業外損益等により、経常損失は632百万円（前年同期は経常損失669百万円）となり、四半期純損失は634百万円（前年同期は四半期純損失676百万円）となりました。

報告セグメント別の経営成績の概況は、以下のとおりであります。

(金額単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額 (注) 2	
	細胞加工業		再生医療等製品事業			セグメント 損失 (△)	売上高
	売上高	セグメント 損失 (△)	売上高	セグメント 損失 (△)			
当第2四半期 累計期間	399	△154	0	△219	△285	399	△658
前第2四半期 累計期間	349	△133	0	△225	△313	349	△671

(注) 1. セグメント損失 (△) の調整額は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失 (△) は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。

① 細胞加工業

細胞加工業については、細胞加工業の3つのビジネス領域（「特定細胞加工物製造業」・「CDMO事業」・「バリューチェーン事業」）の拡大に向けて積極的な活動を展開しております。当第2四半期累計期間においては、「特定細胞加工物製造業」では、免疫細胞加工受託件数の回復及び一部取引先との価格改定、製造受託に向けた技術移転一時金等により、「CDMO事業」では製造受託料の価格改定等により、売上高が増加しております。その結果、当第2四半期累計期間における売上高は399百万円（前年同期比14.4%増）、セグメント損失は154百万円（前年同期はセグメント損失133百万円）となりました。

② 再生医療等製品事業

再生医療等製品事業については、再生医療等製品の早期の収益化を目指すとともに、国内外で行われている再生医療等製品の開発動向にも注目し、それらのパイプライン取得、拡充を視野に入れた活動を行っています。当第

2四半期累計期間においては、売上高は0百万円（前年同期比39.7%減）、研究開発費の減少によりセグメント損失は219百万円（前年同期はセグメント損失225百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（財政状態）

	前事業年度末	当第2四半期 会計期間末	増減
資産合計（百万円）	5,634	6,100	466
負債合計（百万円）	590	533	△57
純資産合計（百万円）	5,043	5,567	523
自己資本比率（%）	89.2	91.2	2.0
1株当たり純資産（円）	21.64	21.71	0.07

資産合計は、前事業年度末に比べて466百万円増加し、6,100百万円となりました。主な増加は、現金及び預金504百万円、投資有価証券52百万円、主な減少は、建物（純額）32百万円、仕掛品14百万円、売掛金13百万円です。

負債合計は、前事業年度末に比べて57百万円減少し、533百万円となりました。主な減少は、流動負債その他の前受金57百万円です。

純資産合計は、前事業年度末に比べて523百万円増加し、5,567百万円となりました。主な要因は、新株予約権の行使等による資本金563百万円及び資本剰余金563百万円の増加、その他有価証券評価差額金45百万円の増加、並びに四半期純損失計上に伴う利益剰余金634百万円の減少等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前事業年度末の89.2%から91.2%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて504百万円増加し、4,901百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によって使用した資金は573百万円（前年同期は563百万円の使用）となりました。

これは主に、税引前四半期純損失632百万円、減価償却費56百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によって使用した資金は17百万円（前年同期は34百万円の使用）となりました。

主な収入は、投資事業組合からの分配による収入33百万円であり、主な支出は、有形固定資産の取得による支出47百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によって獲得した資金は1,095百万円（前年同期は133百万円の獲得）となりました。

主な収入は、株式の発行による収入1,096百万円であります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績予想につきましては、2023年11月10日に公表しました業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,396,333	4,901,287
売掛金	217,624	204,451
仕掛品	33,741	18,789
原材料及び貯蔵品	33,740	33,107
その他	88,217	48,914
貸倒引当金	△828	—
流動資産合計	4,768,828	5,206,551
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	404,826	372,718
その他（純額）	73,575	86,167
有形固定資産合計	478,402	458,886
無形固定資産		
投資その他の資産	113,248	109,145
投資有価証券	211,666	263,682
長期貸付金	531,250	528,750
その他	90,604	87,078
貸倒引当金	△559,855	△553,828
投資その他の資産合計	273,666	325,681
固定資産合計	865,316	893,713
資産合計	5,634,145	6,100,265
負債の部		
流動負債		
買掛金	55,217	46,644
未払法人税等	18,323	21,639
賞与引当金	61,723	62,436
その他	211,574	126,024
流動負債合計	346,838	256,745
固定負債		
資産除去債務	158,146	159,148
株式報酬引当金	19,133	31,818
その他	66,085	85,308
固定負債合計	243,365	276,275
負債合計	590,203	533,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,736,788	6,300,293
資本剰余金	577,808	1,141,312
利益剰余金	△1,437,950	△2,072,187
自己株式	△4	△4
株主資本合計	4,876,641	5,369,413
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	147,029	192,586
評価・換算差額等合計	147,029	192,586
新株予約権	20,270	5,244
純資産合計	5,043,941	5,567,244
負債純資産合計	5,634,145	6,100,265

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	349,413	399,694
売上原価	281,298	321,255
売上総利益	68,115	78,439
販売費及び一般管理費	739,939	737,196
営業損失(△)	△671,824	△658,757
営業外収益		
受取利息	3,456	3,334
為替差益	188	—
投資事業組合運用益	—	20,281
貸倒引当金戻入額	3,100	3,100
加工中断収入	7,103	4,622
その他	550	1,407
営業外収益合計	14,399	32,745
営業外費用		
支払利息	32	16
為替差損	—	5
投資事業組合運用損	6,388	—
株式交付費	121	6,494
社債発行費等	5,696	—
営業外費用合計	12,239	6,517
経常損失(△)	△669,664	△632,528
特別損失		
固定資産除却損	4,829	—
特別損失合計	4,829	—
税引前四半期純損失(△)	△674,493	△632,528
法人税、住民税及び事業税	2,105	2,105
法人税等調整額	△26	△397
法人税等合計	2,079	1,708
四半期純損失(△)	△676,572	△634,236

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△674,493	△632,528
減価償却費	50,392	56,303
株式報酬費用	1,316	4,608
賞与引当金の増減額 (△は減少)	838	712
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,100	△6,855
株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	6,550	12,685
受取利息及び受取配当金	△3,456	△3,334
支払利息	32	16
為替差損益 (△は益)	0	—
無形固定資産除却損	4,829	—
投資事業組合運用損益 (△は益)	6,388	△20,281
株式交付費	121	6,494
社債発行費等	5,696	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,416	13,172
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,979	15,584
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	600	3,526
仕入債務の増減額 (△は減少)	△271	△8,572
未払金の増減額 (△は減少)	△22,391	△23,762
未払又は未収消費税等の増減額	24,750	30,053
その他	46,711	△20,369
小計	△561,880	△572,546
利息及び配当金の受取額	3,461	3,339
利息の支払額	△32	△16
法人税等の支払額	△5,346	△4,203
営業活動によるキャッシュ・フロー	△563,797	△573,426
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,456	△47,943
無形固定資産の取得による支出	△49,034	△5,832
短期貸付金の回収による収入	7,407	—
長期貸付金の回収による収入	2,500	2,500
投資事業組合からの分配による収入	1,536	33,901
敷金の回収による収入	15,113	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,933	△17,374
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	103,025	1,096,763
新株予約権の発行による収入	31,325	—
自己株式の取得による支出	△2	—
リース債務の返済による支出	△992	△1,007
財務活動によるキャッシュ・フロー	133,355	1,095,755
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△465,375	504,954
現金及び現金同等物の期首残高	4,499,095	4,396,333
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,033,720	4,901,287

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年1月10日付で譲渡制限付株式報酬としての新株式発行を行いました。この結果、資本金及び資本剰余金がそれぞれ3,950千円増加しました。

また、当社が2023年3月6日に発行した第19回新株予約権について、新株予約権の権利行使が行われました。この結果、資本金及び資本剰余金がそれぞれ559,554千円増加しました。

以上の結果、当第2四半期会計期間末において資本金が6,300,293千円、資本剰余金が1,141,312千円となっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	再生医療等 製品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	349,137	276	349,413	—	349,413
外部顧客への売上高	349,137	276	349,413	—	349,413
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	349,137	276	349,413	—	349,413
セグメント損失 (△)	△133,163	△225,251	△358,414	△313,410	△671,824

(注) 1. セグメント損失 (△) の調整額△313,410千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失 (△) は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	再生医療等 製品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	399,528	166	399,694	—	399,694
外部顧客への売上高	399,528	166	399,694	—	399,694
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	399,528	166	399,694	—	399,694
セグメント損失 (△)	△154,038	△219,198	△373,237	△285,519	△658,757

(注) 1. セグメント損失 (△) の調整額△285,519千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失 (△) は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、がん免疫療法市場の環境変化に伴う細胞加工業の売上急減後、回復が十分でないことに加え、再生医療等製品事業分野における自社製品の開発進捗に伴う支出が累増しているため、継続的に営業損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローが発生しており、継続企業の前提に疑義を生じさせるリスクが存在しております。

しかしながら、当社は、2018年4月に実行した事業構造改革を通じ、細胞加工業セグメントにおいては、細胞加工施設の統廃合等を通じて製造体制の適正化を図り、同セグメントのセグメント利益の早期黒字回復を目指しております。また、再生医療等製品事業セグメントにおいては、早期の製造販売承認の取得に向けて有望でかつ可能性の高いシーズを優先して開発を進めるとともに、再生医療等製品の開発費等については資金状況を勘案の上、機動的に資金調達を実施してまいります。現状では、構造改革の実行を通じた細胞加工業セグメントにおける製造体制の適正化等による資金の確保、さらに2019年6月の第14回及び第15回、2020年7月の第16回、2020年9月の第17回、2021年9月の第18回並びに2023年3月の第19回新株予約権の発行による再生医療等製品開発費等の資金調達等により、安定的なキャッシュポジションを維持しており、当面の資金繰りに懸念はないものと判断しております。これらに加えて、当社における当第2四半期会計期間末の資金残高の状況を総合的に検討した結果、事業活動の継続性に疑念はなく、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。